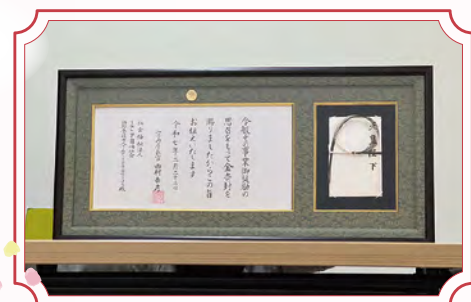


Love has just begun.
It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。



天皇陛下より下賜された金一封と
宮内庁長官からの伝達書

天皇陛下から御下賜金を頂く

ナーシングホームゆうゆうが天皇陛下から御下賜金を頂きました。ゆうゆうは今年でちょうど40周年を迎えました。

天皇陛下御下賜金についてですが、戦前頂いていた方、私の師匠であり元衆議院議員の方ですが、当時は不治の病である結核の人を集めて、彼(故 長谷川保先生)はその方々を助けていたのですが、村人から竹やりをもって追いかけられたそうです。

ある時燕尾服を着て県庁に来るようになると言われ、何事かと思ったら、天皇陛下からの御下賜金をもらわれたそうです。

それを村人が聞いてびっくりしたそうです。当時は現人神と呼ばれた天皇陛下からそのようなものを頂き、この人は立派な人だと、村人は今までの行為を止め、その後、衆議院議員に当選され、昭和21年以降、日本の医療と福祉の先駆者として厚生省の顧問も長年されました。

戦後日本は、スウェーデン、イギリス等を参考に完全社会補償制度を作られてきました。昭和38年に日本で最初に特別養護老人ホームを作ったのはこの長谷川保先生です。私は静岡県浜松市で初めて先生にお会いしました。私は乳幼児から高齢者にいたる人生の縮図を作りたいということをいつも父に話していたのですが、長谷川先生の広島での講演会で同じような話をしていたそうです。講演後、父がお会いすると是非浜松に越させてくださいということになり、浜松にうかがうと私が思い描いていた乳幼児から高齢者まで、大学から大学院までの施設が出来上がっていました。世界一の看護大学もありました。

「先生、この規模のミニでいいので施設を広島に作りたいです。是非、師匠になってください」と申し出たのですが、後にこんなにもすごい人だと初めてわかりました。

その先生に助けて頂きながら、ナーシングホームゆうゆうが40年前に完成しました。落成式には当時の荒木広島市長と長谷川先生も来てくださいました。その後、厚生省の方がIGLのことが東京で話題になっておりますとおっしゃいました。

一つは八角形の建物で、真ん中から360度各部屋を見渡すことができる。その建物の設計。

二つ目は「ナーシングホーム」という名前。

長谷川先生に、これからはアメリカを参考にするように助言をいただきました。アメリカに行ってみると、ナーシングホームが各地にたくさんありました。老人施設に医療が加わった施設です。そういう思いでナーシングホームと名付けましたと説明すると納得されました。ゆうゆうは、悠々自適に暮らしていただきたいという気持ちも込めています。



伝達式時の写真



広島女学院大学とIGLのかかわりについて

去る2月27日に広島女学院大学とIGLグループが提携をしました。中国新聞にも掲載されましたので、ここに記載します。

IGL学園と包括連携協定

広島女学院大(広島市東区)は27日、認定こども園や医療福祉専門学校を運営する学校法人IGL学園(安佐南区)と包括連携協定に関する協定を結んだ。

同大卒業生のIGL学園認定こども園への就職や、専門学校を卒業した留学生の同大への進学を加速させる。学生募集や、教育資源の活用でも協力する。

この日、同大で締結式があり、三谷高康学長とIGLグループの永見憲吾理事長が協定書に署名した。

(2025年2月28日中国新聞掲載)

改めてアメリカ本部のIGLとの出会いについて、まず広島女学院の宣教師から紹介されましたことからお話しさせていただきます。

昭和27年、広島女学院大学の宣教師から両親(牧師)へ相談があり、アメリカのIGLから宣教師が広島の日市市に来ている。そこで協力牧師がほしいので来てくれないかという話がありました。

当時私たちは呉市の広町に住んでおり、母が広島女学院大学へ行って話を聞き、母が父に何の相談もなく即決し、五日市に行くことになりました。

そういういきさつがあって、広島女学院大学とは色々なつながりがあり、今のアメリカにあるIGL本部とのつながりが出来ました。その後、広瀬ハマコ学院長と両親が非常に親しく、海外旅行にも一緒に行き、エチオピア、ブラジルに行きました。そのことからアメリカ本部のIGLからサポートしていただき、両親は随分助けられました。56年前に私がサムエル幼稚園をつくるときに、両親がかつてIGLから助けられたことを記念しIGLの名称を使わせていただきました。そして、開園する時、広島女学院大学の附属幼稚園ゲーンズの園長、戸波先生に非常にお世話になり、その後に鈴木園長が私どもの園長たちと非常に親しくさせていただきました。

鈴木先生は残念ながら去年亡くされました。そして私自身は学生時代より、平和運動でバーバラ・レーノルズと広島女学院大学の宣教師ミスハートマン、ミスマクミラン先生方とも親しくさせていただきました。さらに河本一郎という方が広島女学院大学に勤めながら「広島折鶴の会」をつくれ、広島市の平和運動に長く関わっておられました。

その後に黒瀬先生が広島女学院の理事長であり、大学の学長でもあったことと、YMCAとのつながりがあったことから、私もYMCAにいましたので、その先生とも親しくさせていただきました。

その黒瀬先生にはIGLの社会福祉法人の理事になっていただきましたが、残念ながら去る1月17日に亡くされました。

このように、広島女学院大学とは長い付き合いをして参りました。

ところが3月18日に広島女学院大学の設置者が変わるということを中国新聞が発表をし、びっくりしているところです。



提携式時の写真

